



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# アーサー・アンダーセン(デンマーク)のナレッジマネジメント： 仮想空間におけるリアルタイムの資産構築

5

## 序論

アーサー・アンダーセン・デンマーク (Arthur Andersen Denmark) のビジネスコンサルティング業務部門の経営パートナー エスパー・ヤルビーク は次のように説明している。

10

「 $K = (P + I)^S$ 」。この簡単な方程式は、知識を有効に管理し、情報化時代に競争力をつけようとする我々の努力の基礎である。知識 (K) は、人々 (P) が技術を利用して (+) 情報 (I) を交換することにより取得され、共有 (S) により何乗も増加するものと考えている。この簡単な方程式の力は非常に大きい。それは明快であり、万人にアピールする。それを誰かに説明すれば、すべて意味をなし、すべてツジツマがある。」

15

アンダーセン・ワールドワイド (Andersen Worldwide S.C.) は、世界最大の専門サービス会社であり、1995年の年収は81億ドルである。同組織は、76カ国360カ所以上のメンバー事務所で構成され、82,000人以上の従業員を抱えている。アーサー・アンダーセン (AA) は、監査、ビジネス・税務アドバイザリー、及び専門コンサルティング・サービスを提供するアンダーセン・ワールドワイドの1事業部である。

20

知識を系統的にまとめ、これを全世界に継ぎ目なく伝える能力は、AAの行う監査・コンサルタント業務において競争上不可欠な要素と見なされている（付属資料1参照）。このむずかしい課題をさらに困難にしているのは、世界の知識量が5年ごとに倍増しており、2020年までには72日ごとに倍増するものと予測されるという認識である（付属資料2参照）。AAは、他の多くの組織に比べて、たえず変化し競争の激化する情報化時代に競争力につけるためには組織の知識を有効に管理することが重要であるという事実に早くから気づいていた。AAの内部資料はこの問題について次のように説明している。

25

「当社の目標は、知識資本を開発し、維持することにより、企業として、知識社会において最大の、最適な構成の、最も貴重な知識資本を自由に駆使できるようにすることであ

30

本ケースは、INSEAD の Soumitra Dutta 教授と Arnoud De Meyer 教授がクラス討議の資料として作成したもので、経営管理の適否を例示しようとするものではない。

原文の英文ケースおよびこの邦訳ケースの著作権©1997は INSEAD に属する。翻訳は慶應義塾大学ビジネス・スクールが行った。（翻訳監修：高木晴夫）

1999/4